

真田図書館サポーターだより 第11号

ご挨拶

真田図書館サポーターの会会長 渡辺 猛

今年の冬は暖冬で雪も少なく、過ごしやすいなと思っていたら1月の半ばに大雪が降り、それ以降一段と厳しい寒さが続いておりますが、皆様ご健勝でご活躍されていることと拝察致します。

さて、いよいよ大河ドラマ「真田丸」の放送も始まり、毎週テレビにくぎ付けになって一喜一憂しながら、改めて自分が生まれ育ったこの町が真田氏発祥の郷であることを再認識し、誇りとやる気がふつふつと湧いてきて胸を熱くしている今日この頃です。

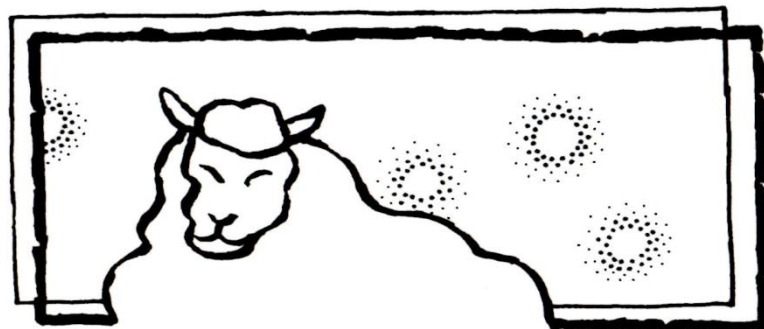
平成27年度は真田図書館が5周年を迎えサポーターの会としても、数々のイベント等に取り組んでまいりました。恒例の真田塾は6回開催し、真田地域に関係する講師の皆様のお話をお聞きし、参加者からご好評を頂きました。

コンサートは2回開催し、5月には真田町出身の三井崇裕さんとそのお仲間の木管三重奏の音色に魅了され、11月には上田アンサンブル・オーケストラの迫力ある演奏に圧倒されました。

今年の1月には第2回真田図書館ボランティア講座で、篠原由美子先生（松本大学松商短期大学部教授）の「図書館運営とボランティア活動」という講演を聴講し、外部の方からも真田図書館サポーターの会の活動が一定の評価を頂き、成果を残していることに安堵したところでございます。

これからもサポーターの会は、ふるさとを愛し、皆で地域を支えるという心を持って真田図書館を支え共に成長していけたらと思っています。

皆様には本年も変わらぬ御厚情を賜りますようお願い申し上げます。



第 5 回真田塾 桂木恵先生講演会

「鉄道模型から見える日本近現代小史」を受講して

R・H

一言、ためになりました。自分が生きてきた人生のレールの上をもう一度振り返って、「あー、そうだったな。」と自分の足跡を再確認できたり、「へえー、実際はそうだったのか。」と身近なことでも知らなかったことも認識でき、この会に参加できたことを心から嬉しく思いました。

1963 年（昭和 38 年）に急行「信州」や「妙高」が開通したこと、そして 1966 年（昭和 41 年）に 189 系電車、特別急行「あさま」が私たちの住む上田にやってきたこと。そして一番身近かにあった「丸子電鉄」「真田傍陽線」の廃止がバスの代替輸送となり、そのバスでさえ自家用車の普及に伴い廃止になってゆく。そんな自分の記憶から消えそうな歴史をわかりやすいグラフや資料を説明しながら、あっという間に講演会は幕を閉じました。

私たちの左側にはなつかしい列車の模型や写真が置かれ、Nゲージの蒸気機関車もせっせとレールの上を走っていました。この列車のようにこの講演会がこれからもずっと続いてほしいと思いました。日本の経済も幸せも鉄道と共に発展を続けてほしいと願っています。桂木先生本当にありがとうございました。

第 2 回真田図書館ボランティア講座

「図書館運営とボランティア活動」に参加して

鈴木継彦

私自身図書館を利用することが多く、また、「図書館おはなし広場」では「ミミールの会」として活動させていただいていることもあり、今回の内容に興味を持ち参加しました。

そこでは図書館の現状やそこで活躍するボランティアの姿について、上田市の状況や他の図書館の例を出して話していただきました。

図書館が単に本を読む・借りる場というだけでなく、地域の憩いの場であり、コミュニティセンターであること。また、利用者が地域の情報を提供しあい、多くの人がその土地の良さをもっと知ること、今まで以上にその土地を愛することに寄与する場であることをも知りました。

今後とも皆で図書館を支え続け、工夫していくことで、図書館が常に利用しやすく、気軽に足を運ぶことができ、楽しく愛される空間であり続けてほしいと思います。最後に講師の篠原由美子さん、この場を設定していただいた真田図書館・サポーターの会の皆さんに感謝します。

図書館にできること part7

(図書館司書 小暮由夏)

おかげさまで真田図書館も満五歳になりました。

これからも、地域の頼りになる図書館でありたいと思います。

2016年 いよいよ、待ちに待った「真田丸」year いざ、出陣！！

今年は、待ちに待ったNHK大河ドラマ「真田丸」放映の年です。
この郷土の誇り「真田氏」発祥の郷としては、小躍りしたくなる今日この頃、目頭を熱くして毎回、楽しみにテレビの前で視聴していらっしゃる方も多いと思います。出版界でも近年まれに見る出版ブーム？と思われるくらい出版界では「真田丸」効果で次々に関連書籍が出版されています。図書館の中におりましても、毎週10冊くらいずつ地元書店さんから見計らいで本が持ち込まれています。どの本を図書館の蔵書にするのか、悩みます。書店に出かければ、やはり「真田丸コーナー」で山のように本が積み上がっており、目移りするばかりですよね。実際、中身に目をざっと通しますと、従来の本の再編集であったり、つぎ合せであったり、あまり内容としては変わりのないものが多くあります。そこで、このサポーターだよりを読んでくださっている方に簡単ですが、真田丸関連書籍のおすすめ本をいくつかご紹介したいと思います。

まず、ドラマの時代考証を担当していらっしゃるおひとり平山優先生の本。平山先生は公民館図書室時代から論文作成のため、史料を探しにいらしてコピーを取らせていただきました。私もとてもうれしく思っております。内輪話で恐縮ですが。(笑)

- ・ 幸村と呼ばれた男の真実「真田信繁」 角川選書
- ・ 小林計一郎先生の「真田幸村と真田一族のすべて」 k a d o k a w a
- ・ 時代考証家 山田順子先生の「新説真田三代ミステリー」
- ・ 学術的な本としては芝辻俊六先生の「真田幸綱・昌幸・信幸・信繁」岩田書院
- ・ 真田家直系子孫真田徹さんの「真田幸村の真実」宝島社
- ・ 元上田市立博物館館長 寺島隆史先生解説の「疾風六文銭 真田三代と信州上田」

まだまだ、ありますが、真田図書館1階「真田丸コーナー」をぜひご覧ください。

で き ご と

- ・ 2月19日（木）第2回業務部会交流会
- ・ 2月21日（土）2月おはなし広場 民話の会
- ・ 2月28日（土）第4回運営部会
- ・ 3月7日（土）第5回真田塾 石井栄氏・尾尻雅弘氏
「弦楽器に魅せられて」
- ・ 3月13日（金）第5回運営部会
- ・ 3月14日（土）第3回業務部会
- ・ 3月21日（土）3月おはなし広場 たまたま箱
- ・ 3月24日（火）企画委員会開催
- ・ 4月3日（金）家庭菜園の楽しみ方講座 山宮君夫氏
- ・ 4月11日（土）定期総会開催
- ・ 4月18日（土）4月おはなし広場 民話の会

一緒に活動するサポーターを募集しています！



イラスト：牧内 愛さん

たゆまず、無理せず、責任をもって、
たえず学び、創造し、そして出会いを
大切にするのがボランティア！！

多くの仲間がやればまた楽しく
できると思います。

皆さん、一緒に図書館を支える活
動をしてくれる仲間を増やしまし
よう！！

…編集後記…

立春を過ぎましたが、山に積もった雪がなかなか解けません。先日、とある場所で以前より見たいと思っていました、司馬遼太郎の「街道をゆく」のVHSテープを借りることができました。再生してみますと、昭和の名残が色濃い情景を見ることができましたし、特に津波により多くの被害を出しました東日本大震災の前の情景を見ることができ、今更ながら、その被害の大きさに驚いています。このテープを見ていると日常の平穏な日々がいかに大切かと、あらためて思い出されました。

F. H